



将来都市像の実現に向けて

『活力あふれるまち ふれあいのまち』

岩出市は、平成18年4月1日に単独での市制を施行し、これを新たな飛躍の契機として、将来像を『活力あふれるまち ふれあいのまち』と定めた「岩出市長期総合計画」を策定しました。

現在は、平成23年3月に策定しました「第2次岩出市長期総合計画（基本構想、前期基本計画）」をまちづくりの指針として、「住んでよかったと思えるまちづくり」、「安全で安心して暮らせるまちづくり」、「笑顔あふれるまちづくり」、「元気で健康なまちづくり」の4つのまちづくり大綱を柱に、各分野において施策を進め、市民の皆様が住んでよかったと思えるまちづくりに取り組んでいるところです。

この度策定した「第2次岩出市長期総合計画（後期基本計画）」は、平成27年度の前期基本計画の期間満了に伴い、長期総合計画に掲げる10年（平成23年度～平成32年度）の基本構想に基づき、前期基本計画の5年（平成23年度～平成27年度）の期間で発生した新たな課題、「社会・経済情勢の変化」、「自然災害の発生」、「人口の減少化」、「少子高齢化の進展」などへの対応を踏まえ、岩出市の今後5年間（平成28年度～平成32年度）を見据えたまちづくりの方向性を示したものです。

本計画に基づき、まちづくりを進めていく上で、道路、水路、下水道などのインフラ整備によるハード事業と自主防災、社会保障、教育環境、青少年健全育成などのソフト事業をバランスよく進めることが重要であります。

また、これら計画を進めるにあたり、行政だけでなく、市民・地域との「対話と協調」のもと、住んでよかったと思えるまちづくりを進めていくことができるものと考えています。

本計画の策定においても、「市政懇談会」、「まちづくりアンケート」、「パブリックコメント」など、市民の皆様の意見を反映させていただきました。

人口増加や都市整備など、住環境が著しく変化する本市において、住民ニーズの多様化・複雑化が進み、市行政を取り巻く環境は、一段と厳しい状況にありますが、市民、地域、民間企業、関係機関、行政等が連携し、将来都市像である『活力あふれるまち ふれあいのまち』の実現に向け、本計画に基づき、今後5年間のまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、「市政懇談会」や「まちづくりアンケート」などを通して、幅広いご意見・ご要望いただきました市民の皆様、また、ご尽力賜りました関係者の皆様方に心から感謝を申し上げます。

平成28年3月

岩出市長 中 芝 正 幸

